

令和6年9月17日

令和6年度 卒業生アンケート結果分析

IR委員長 伊木亜子

令和6年8～9月に同窓生LINEを使用して登録の卒業生224名に対しFormsによるアンケートを実施した。回答数16件（7%）のうち、食物栄養学科卒業生が7件、保育学科卒業生が9件であった。

「卒業した学校の教育内容に満足していますか」の問いに対しては、16件中15件（93.8%）が、80点以上（10点刻み100点満点）と回答した。

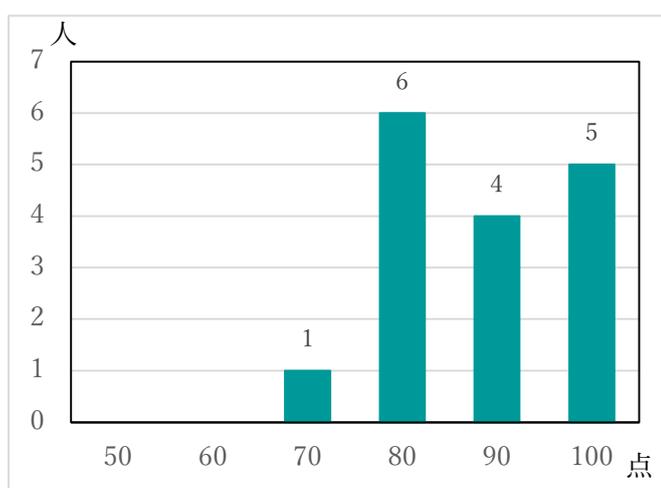


図1 「卒業した学校の教育内容に満足していますか」(n=16)

「卒業した学校の学生時代に学んだ専門分野は、現在の仕事とどの程度関連がありますか」の問いに対しては、「おおいに関連ある」との回答が9件、「やや関連がある」との回答が3件で計12件（75.0%）が「関連ある」と回答している。

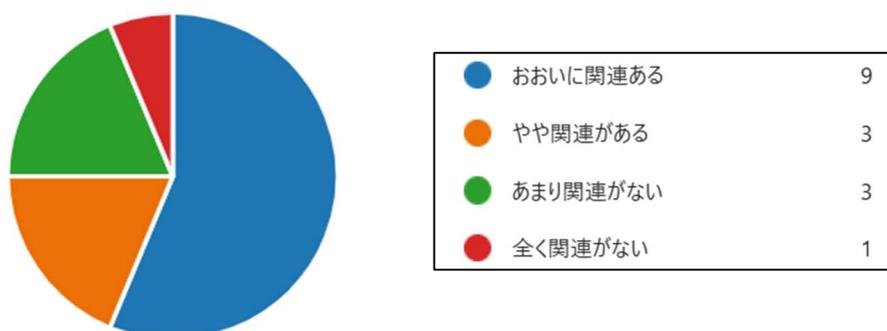


図2 「卒業した学校の学生時代に学んだ専門分野は、現在の仕事とどの程度関連がありますか」(n=16)

「仕事や日常生活の中で、卒業した学校で学んだことや経験が役立っていると感じることはありますか」の問いに対しては、「十分役立っている」との回答が5件、「ある程度役立っている」との回答が5件で、計10件（62.5%）が「役立っている」と回答している。



図3 「仕事や日常生活の中で、卒業した学校で学んだことや経験が役立っていると感じることはありますか」
(n=16)

また、「函館短期大学での学びを通して在學生に身に付けて欲しいこと」として該当するものすべてを選択してもらった問いについて、「専門性」が8件、次いで「コミュニケーション能力」が7件、「自己判断能力」および「課題発見・解決能力」がいずれも6件であった。

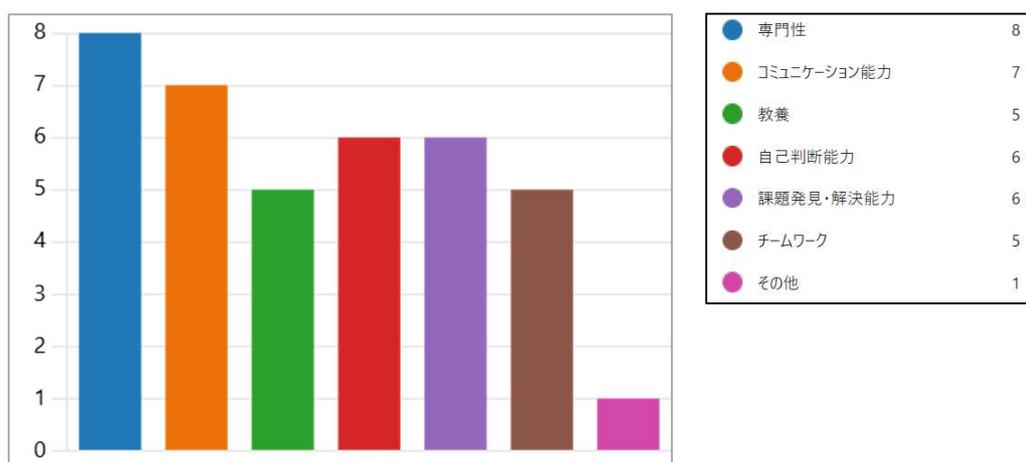


図4 函館短期大学での学びを通して在學生に身に付けて欲しいこと（複数回答可）

以上より、回答を得られた卒業生については、本学の教育内容に対し概ね満足していることが窺われた。また、6割の卒業生が、本学で学んだことや経験が役立っていると感じており、いずれも本学で学んだ専門分野に関連した職業に就いた卒業生であった。その他、学生時代にやっておけばよかったと思うこと、卒業後、社会に出てから必要を感じて勉強したこととして、「地域の特色を知ること」や「サークル活動やボランティア活動」など学業以外にもコミュニケーションを図り視野を広く持つことが必要であるとの意見があった。

R5年度のアンケート回答率（23%）と比較し、回答率は大幅に低下した（7%）。教育改善へ反映するため、回答率を高くするための対策を講じることが課題である。

以上